

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樫の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 April 5

■ 2016～2017年度方針  
ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.35

## 例会報告

●第2168回例会 平成29年4月5日(水) 晴

●4月は母子の健康月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 100 名中 出席62名  
(89)

出席率69.66%

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

(公財)アジア保健研修所 林 かぐみ事務局長

●ニコボックス

「本日卓話の林かぐみさんをよろしくお願ひします。寄付金BOXまわしますので皆様のお心をよろしくお願ひします。」 坂倉弘康君

「孫娘がいよいよ明日から高校1年生になります。」 加治佐健二君

本日のニコボックス 2件 4,000円

累計 132件 1,338,000円

## 福田哲三副幹事報告

▽当クラブ行事予定

・4月11日(火) 12時30分～、6RC合同例会です。  
場所は名古屋東急ホテルです。

※名古屋千種RCがホストのため、曜日と場所が変更となります。

4月12日(水)のウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません。

・4月26日(水) 例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

- ・5月3日(水) 祝日のため、休会です。
- ・5月17日(水) 職場例会を開催致します。9時に名古屋テレビ塔北駐車場に集合し、バスにて駒ヶ根に行きます。

※5月17日(水)ウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません。

※本日、職場例会のご案内を配布しております。

- ・5月24日(水) 2017～18年度第1回クラブアッセンブリーを開催致します。  
場所はウェスティンナゴヤキャッスル、時間は18時～です。

※2017～18年度の理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

※本日、2017～18年度第1回クラブアッセンブリーのご案内を配布しております。

## 高木一平会長挨拶

“権利は最小に、義務は最大に”

私が最も尊敬している方にイエローハットの創業者で「日本を美しくする会」相談役の鍵山秀三郎さんという人がおられます。トイレ掃除を中心とした美化運動を全国的に広めて多くの人々を感化されています。この方が日頃おっしゃっている言葉に「権利は最小に、義務は最大に」というのがあります。

戦後の民主主義教育は、戦前に対する反動で基本的人権をはじめとする権利拡大主義に席卷されてきました。もらえる物は何でももらう、逆に、与えることや義務は最小限にするという風潮が蔓延しています。

バイキング料理では大量の料理を皿に盛り、余れば持って帰る人々があり、ホテルではシャンプー、リンス、櫛など持ち帰られる物を全て持っていく人々があります。退職する直前に有給休暇を取りまくり、引継もせず辞めていく人々があります。横断歩道を待ってくれる車があるのに、ゆっくり目一杯時間をかけて渡る人々があります。謙譲の心、足を知る、利他の心、などの日本人らしい美徳が失われてきています。

鍵山さんはこの風潮を深く憂え、先の言葉を発したの  
でした。与えられた権利を使い切らず、できる限り他の  
人のために残しておく。逆に人の為にやるべきことは最  
大限に行う。これは幸田露伴の言う惜福、分福、植福  
の精神でもあります。

鍵山さんはこの他にも多くの名言を残しています。「大  
きな努力で小さな成果を」というのも有名です。結果  
重視、成果主義の正反対の考え方ですが、楽をして得  
た成果は底が浅く、長続きしません。無私の心で行っ  
た大きな努力はその過程で必ず人間的成長があり、最  
後は良い結果が得られるということでしょう。

なかなか真似のできない生き方、考え方ですが、「義  
務を最大に」全うすることや「大きな努力」をすること  
はロータリーの「超我の奉仕」や「みんなのためにな  
るかどうか」、さらに本年度の方針「清く正しく」に相  
通じるものがあります。偉人の語ることとロータリアンが  
目指すべき理想には実に共通項が多いと思います。

## 卓 話

### アジアの母子の健康のために ～AHIの取組み

(公財)アジア保健研修所 事務局長 林 かぐみ



1976年、一人の日本人医師がネ  
パールの小さな町外れの病院へ、  
ボランティアとして働くためにやっ  
てきました。彼は、3ヶ月間病院  
内ただ一人の外科医として、早朝  
から深夜まで次々とおとずれる  
人々のために手術室を離れること  
ができませんでした。そんなある  
日、26歳の女性が家族と一緒に、  
二日間かけて病院までやって来  
ました。膝には腫瘍があり、ひと  
目で非常に進行した皮膚ガンだと  
分かりました。検査の結果、骨  
までガンが達していることが分  
かり、「すぐにあなたの右脚を切  
断しなければならぬ。そうしな  
ければあなたの命までも失うこ  
とになってしまいます」と告げ  
ました。ところが、彼女は少し考  
えて「切らないでください」と  
言ったのです。そして続けてこ  
う言いました。

「私が死ぬのは悲しいことです。しかし私が死ねば、  
私の夫は次の妻をもらうことができます。そしてその健  
康な新しい妻は私の子どもたちの世話をし、夫を助け  
て働くことができます。でも、私が脚を切って何もする  
ことができなくなったら、貧しい我が家は全滅するかも  
しれません。私にはそんなことはできません」自分の命  
よりも家族を大切に思う彼女のこの言葉に、彼は大きな  
衝撃を覚えました。そして彼女との出会いが、彼の人生  
を大きく変えました。

### AHI(アジア保健研修所)の設立

日本に戻った彼、川原啓美は、アジアの村の中で人

びとが自分たちで、健康を保つことができるように保健  
や生活を村の人と一緒に改善していく人を増やして  
いくことが大切だと考えました。そして、アジアの人  
びとの健康の増進を目的とするアジア保健研修所(AHI  
I)を1980年に設立しました。

### AHIがめざしていること

住民主体の保健活動と、そのための人づくり

～自分たちの健康は自分たちの手で～

アジア保健研修所(AHI)は住民主体の保健活動  
を起こし、支えていく保健ワーカーを育成しています。  
アジアの人たち自らが「生活をよくしたい」「健康で暮ら  
したい」と思い、協力して持てるものを分かち合いなが  
ら、生活を変えようと動き出すことを目指し、保健ワー  
カーたちは様々な活動を行っています。

### AHIが取り組んでいること

「自立のための分かち合い」をモットーに、国際研修  
をはじめとするさまざまな研修や、日本の人々を対象に  
した国際理解プログラムを行っています。

AHIの特徴 ひとからひとへ＝参加型の研修活動＝

集まった参加者の経験から、お互いに学び合うのが、  
「参加型」の研修です。研修では、それぞれが今までの  
活動の中で抱えている課題を明確にし、みなと共有  
します。そして、同じようにアジアで活動する他の参加  
者から、意見をもらったり、その経験からアイデアを  
得たりする中で、自らの課題を解決する方法を考えてい  
きます。

### AHIが研修を行う上で大切にしていること

AHIが研修を徹底的な参加型にしています。

それは、研修生が地域に帰ったとき、そこに住む人  
たちが主体になるよう活動を進めてほしいと願っている  
からです。当事者自身が取り組むことによってでしか、  
課題の本質的な解決はありませんし、そのことによって  
一人ひとりが自信と誇りをもつことができます。

そのため、村の人たちが助けあいながら、健康な社  
会を作っていくことを目指します。

例会	月日	今後の予定
第2170回	4.19	三重県水産研究所 津本 欣吾さん 「海洋の環境保全について考える」
第2171回	4.26	公益財団法人 日本ペストコントロール協会 会長 平尾 素一さん 「日本を狙う昆虫媒介性感染症と 日本ペストコントロール協会の活動」
	5.3	法定休日(例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。